



「新水道ビジョン推進のための地域懇談会」
平成26年2月21日（金）福岡国際会議場

沖縄県における水道広域化の取組み

沖縄県環境生活部 生活衛生課
大城 貴

1



— 概要 —

- ・ 1 沖縄県の地勢・水道の現状
- ・ 2 沖縄県の計画
- ・ 3 沖縄県における取組み状況
- ・ 4 今後について

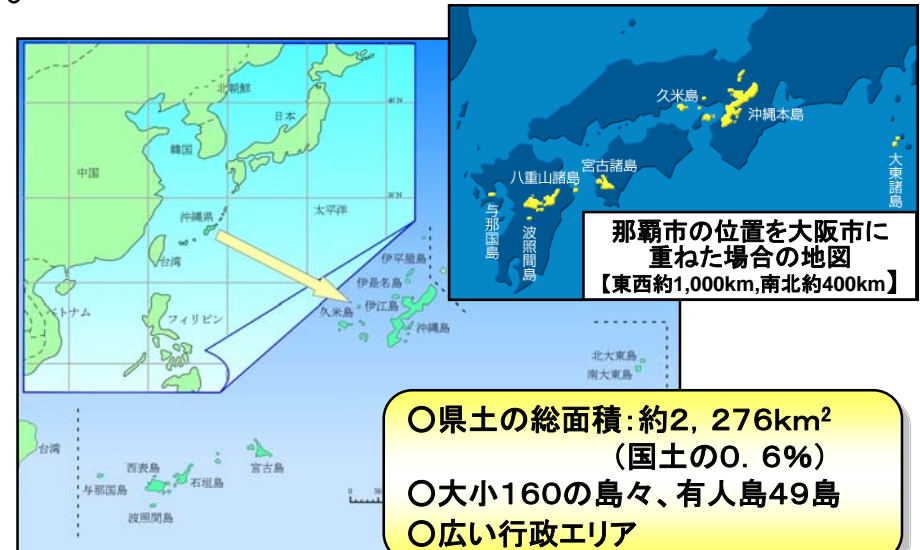
2



1. 沖縄県の地勢・水道の現状

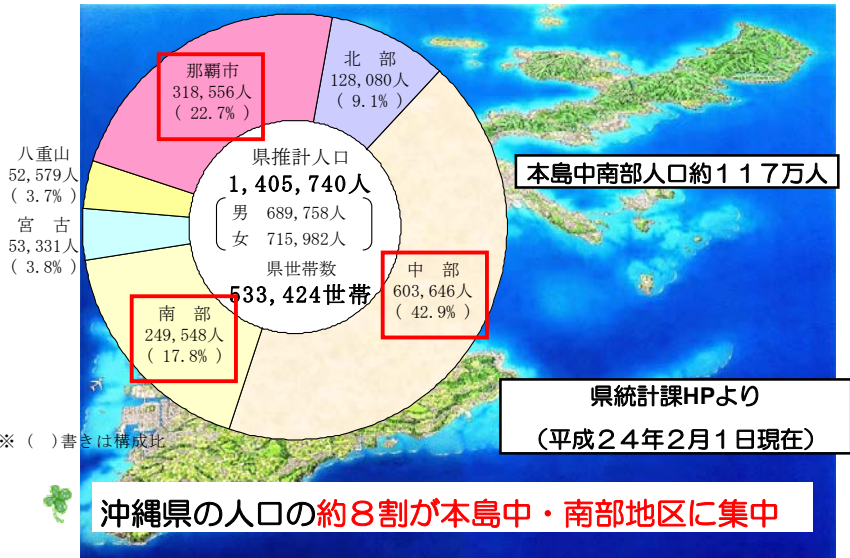
3

1. 沖縄県の地勢・水道の現状 — 島嶼県 —

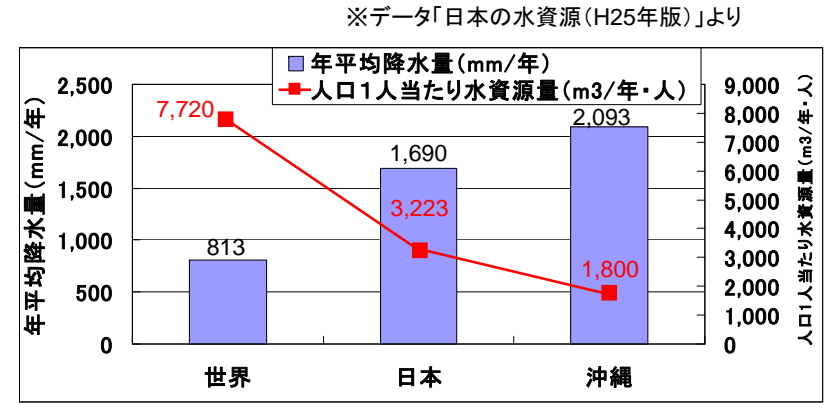


4

1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —人口分布—

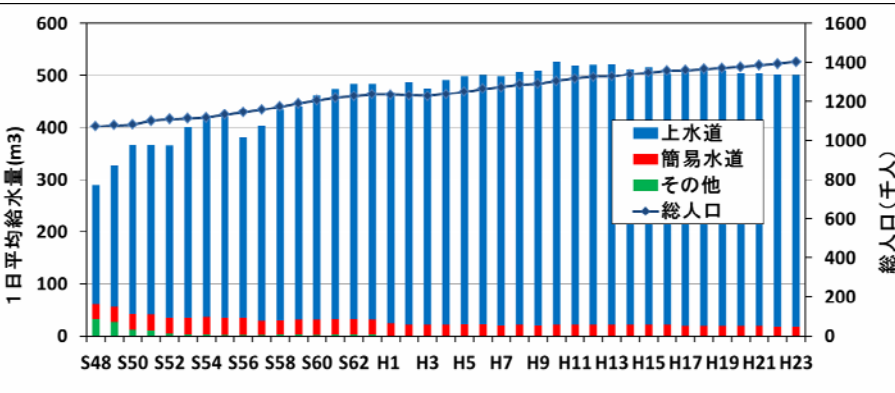


1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —水資源—



- 🌿 沖縄の降水量は、世界平均、全国平均より多い。
- 🌿 沖縄の人口一人当たりの水資源量は逆に少ない。

1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —人口と給水量—

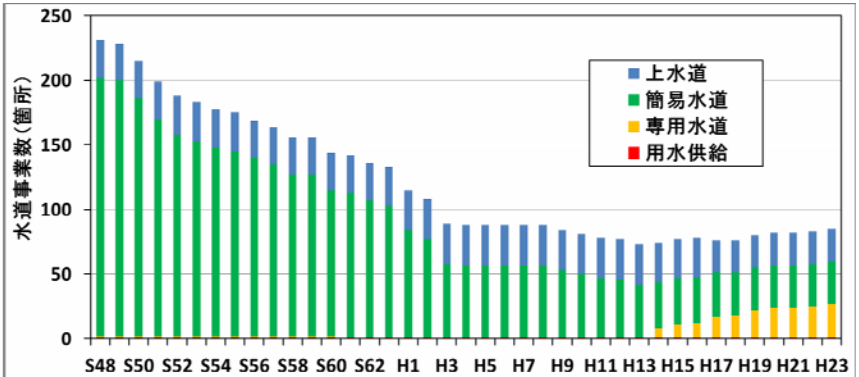


S48 総人口：1,072千人 日平均給水量：290千m3

H23 1,402千人 500千m3

○平成15年度に水道普及率がほぼ100%を達成。

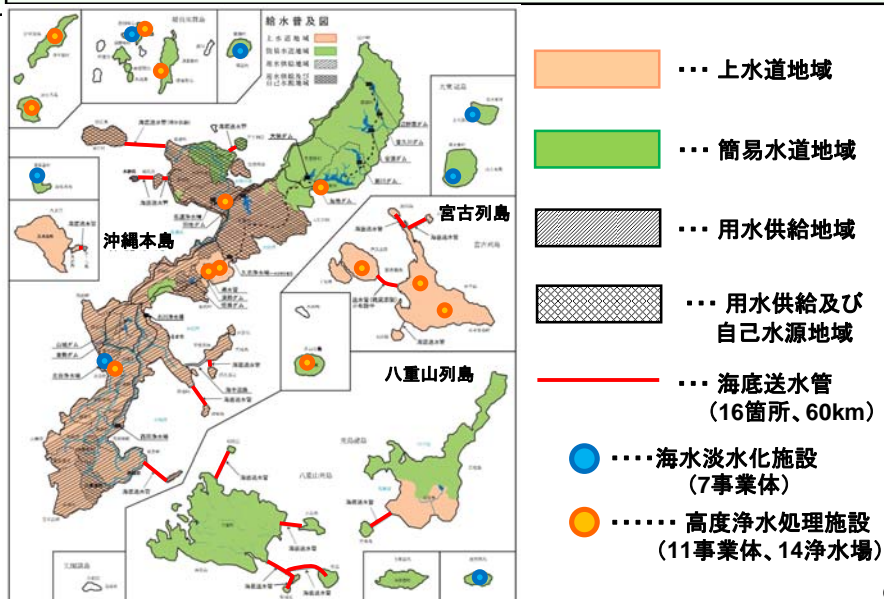
1. 沖縄県の地勢・水道の現状 —水道事業体数—



	S48	H23	備考
○上水道事業	29	25	(主に市町村合併)
○簡易水道事業	200	33	(主に簡水統合、上水編入)
○用水供給事業	1	1	(県企業局)
○専用水道	1	26	(ESCO方式による増加)

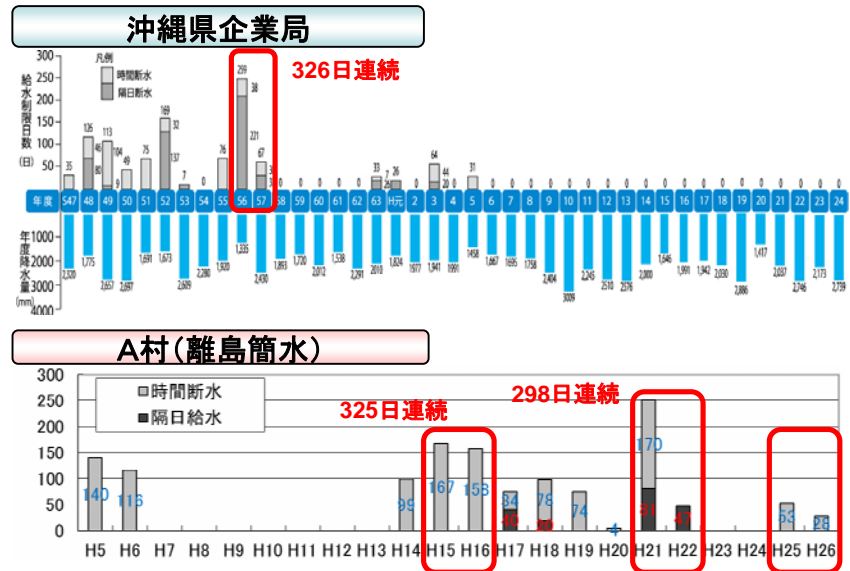
1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—水道普及図—



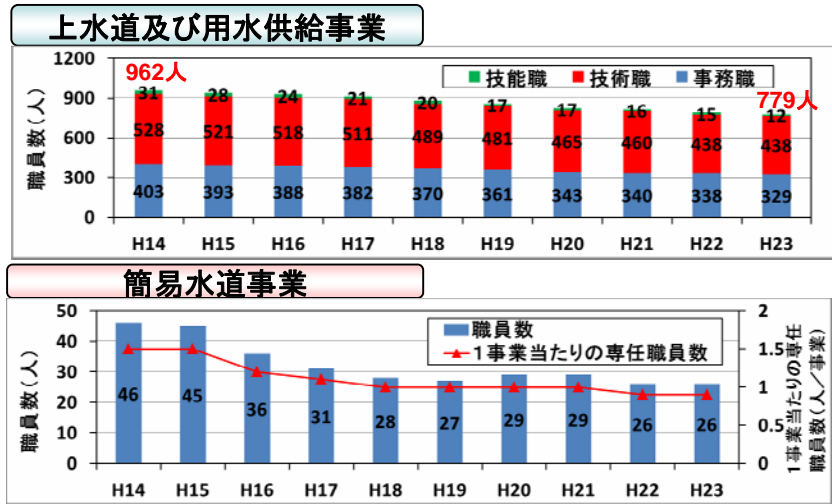
1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—制限給水—



1. 沖縄県の地勢・水道の現状

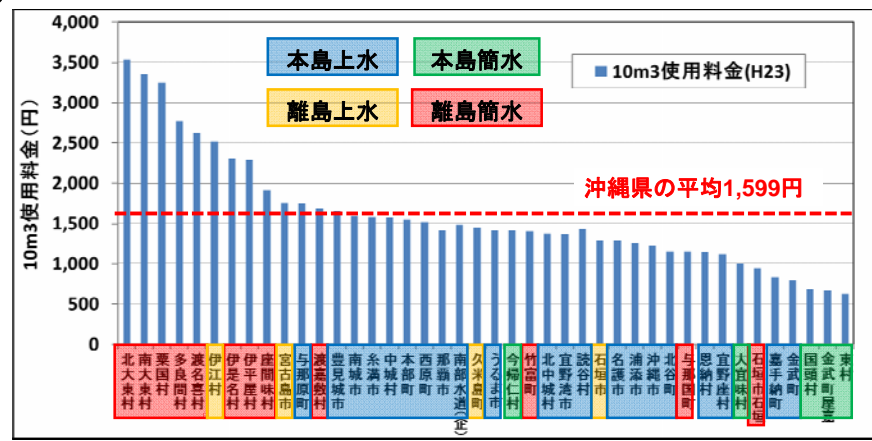
—技術者数—



- 職員数が減少（上水及び用供20%減、簡水40%減）
- 特に簡易水道事業の体制が脆弱（専任職員1人／事業体）

1. 沖縄県の地勢・水道の現状

—水道料金—



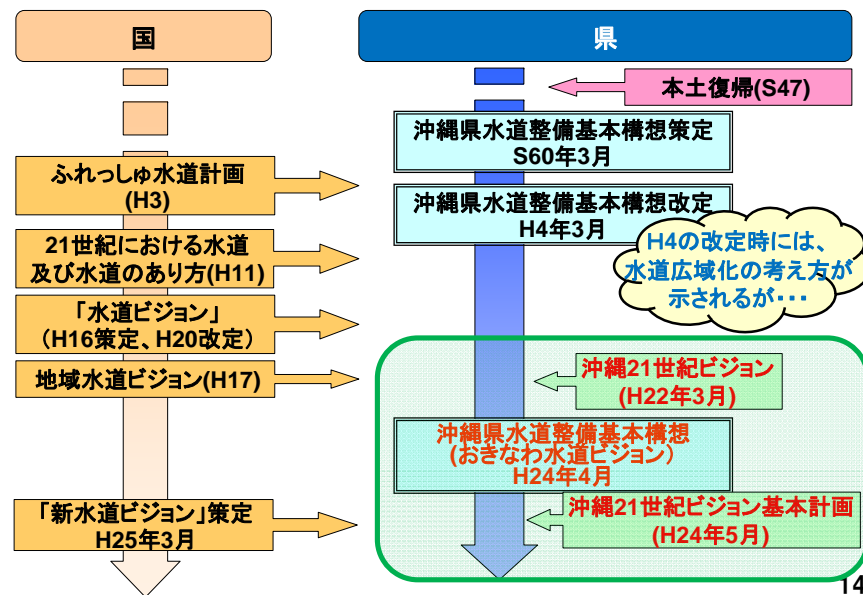
- 地域の状況により、水道料金の差がある。
- 特に、水源の乏しい小規模な離島の料金が低い。



2. 沖縄県の計画

13

2. 沖縄県の計画 — 国と県の主な経緯 —



14

2. 沖縄県の計画 — 沖縄21世紀ビジョン —

沖縄21世紀ビジョン
【想定年:2030年】

将来像の実現に向けた
取組みの方向性を示す
基本構想

基本計画(計画期間:10年)

実施計画(計画期間:5年)

目指すべき将来像

- ① 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- ② 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- ③ 希望と活力にあふれる豊かな島
- ④ 世界に開かれた交流と共生の島
- ⑤ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

将来像実現に向けた展開方向

水道分野におけるユニバーサルサービスの向上に向け、**水道広域化に取り組む。**

15

2. 沖縄県の計画 — おきなわ水道ビジョンでの広域化の位置づけ —

基本理念

安全・安心な水道水を安定的に将来にわたって供給できる水道の構築

計画期間

計画期間は、20年(目標年度:H42)

目標達成の方策(水道広域化の考え方)

水道の運営基盤の強化・利用者サービスの向上を目的として「**水道広域化の推進**」を方策の一つとしている。

役割

【県】:水道事業者の連携に資する各種調整や合意形成などの**コーディネーターとしての役割**等

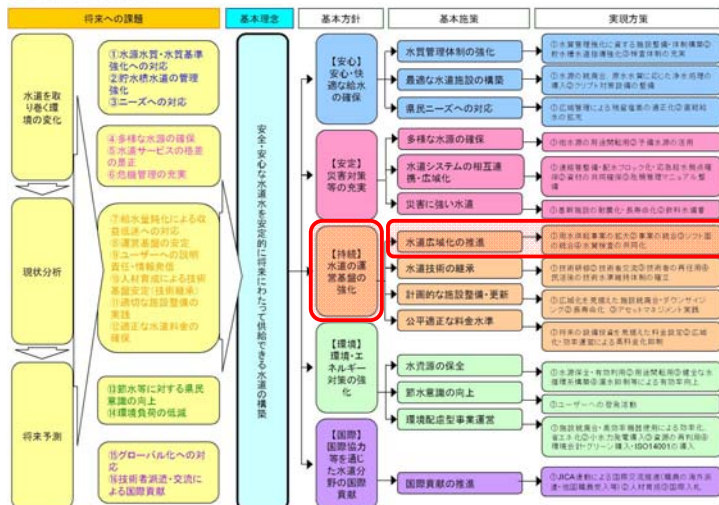
【水道用水・水道事業者】:県と協働して取り組むパートナー等

【利用者(県民等)】:水道事業を支えるパートナー等

16

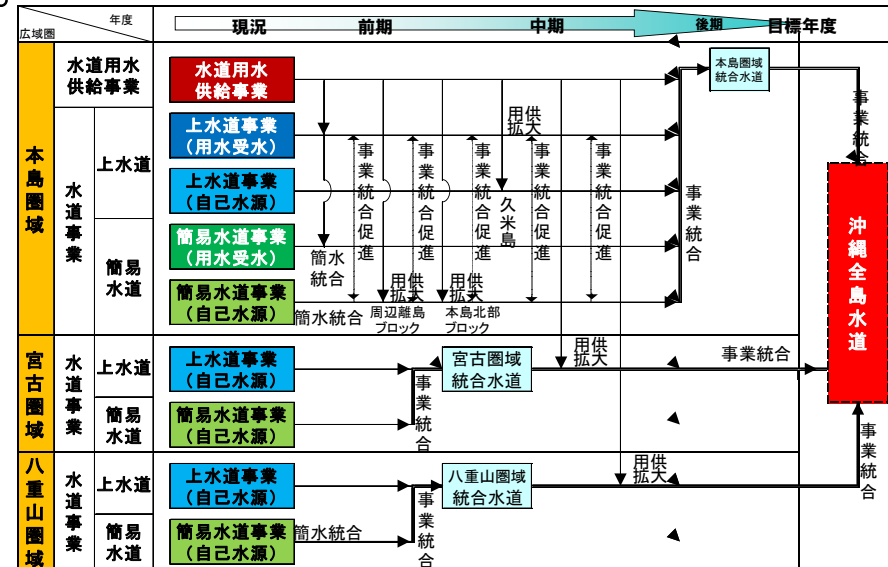
2. 沖縄県の計画 -おきなわ水道ビジョンでの広域化の位置づけ-

おきなわ水道ビジョンの概要



出典：沖縄県水道整備基本構想～おきなわ水道ビジョン～（沖縄県）

2. 沖縄県の計画 -将来計画-



3. 沖縄県における取組み状況

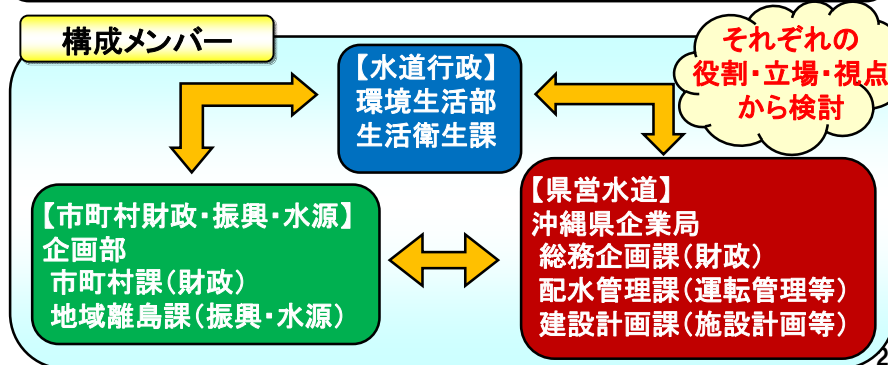
3. 沖縄県における取組み状況 -検討チームの設置-

水道広域化検討ワーキングチーム【H22設置】

設置目的等

- 水道の広域化について積極的に推進するため、諸課題の抽出、対応策等を具体的に検討することを目的に設置。
- これまでに通算10回会議を実施(H25は4回実施)

構成メンバー



3. 沖縄県における取組み状況 —主な検討・調査内容—

1. 水道事業・水道施設の状況・見通しについて

- ①水需給 ②水源・水処理 ③簡易水道保有資産・地方債の状況
- ④土地の所有(民有地等)状況

2. 現地調査の実施、水処理・運転管理体制の検討

- 小規模離島簡易水道事業の水処理、運転管理状況の調査
- 調査を基に広域化を想定した、最適な水処理、運転管理の検討につなげる。

3. 制度の整理

- 国庫補助金、地方債の取扱い
- 水源(水利権等)の取扱い

4. 水道広域化の形態(モデル)について

- 想定される広域化モデルの抽出・効果の検討
- 広域化後の姿の可視化(広域化・財政シミュレーションの実施)



4. 今後について



4. 今後について —取組みのイメージ—

県内部での検討・議論は進捗

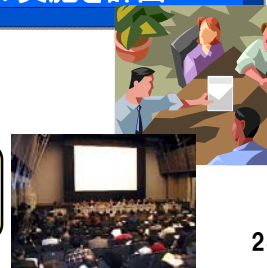


検討内容を踏まえて

今後は、県民・関係事業者のコンセンサスを図る取組みが必要！
例えば、関係者で構成する協議会やシンポジウム等の実施を計画



今後も、ユニバーサルサービスの向上に向け、
水道広域化に取り組んでいきたい！



ご静聴ありがとうございました。

